

**PRO****GAS18V-6LS**

取扱説明書

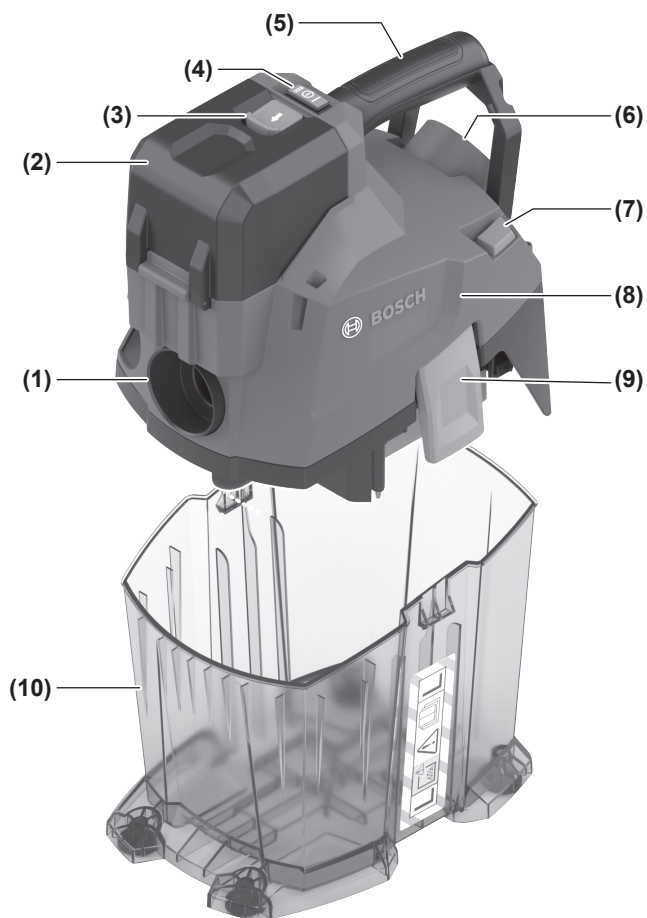
このたびは、弊社コードレスマルチクリーナーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

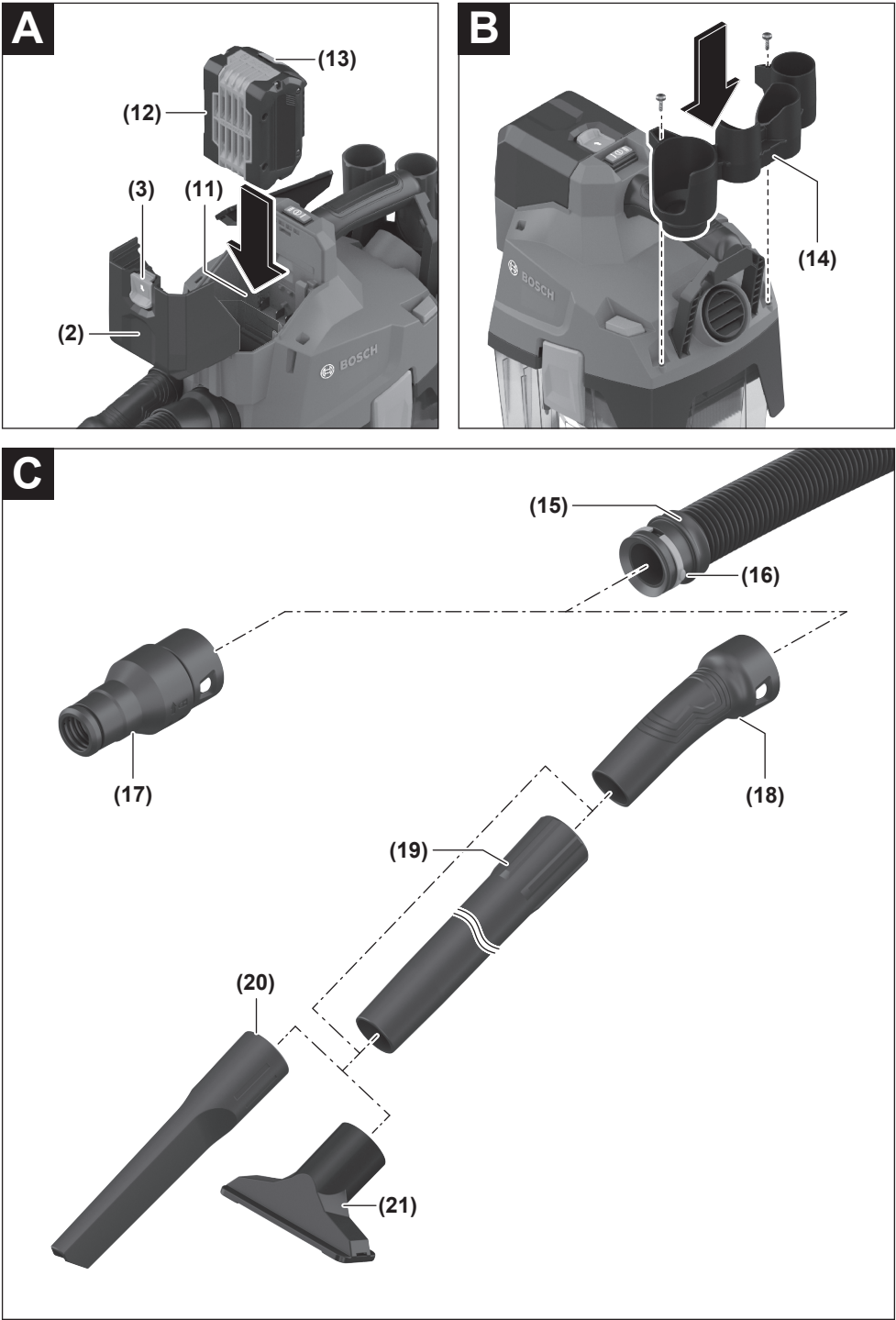
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

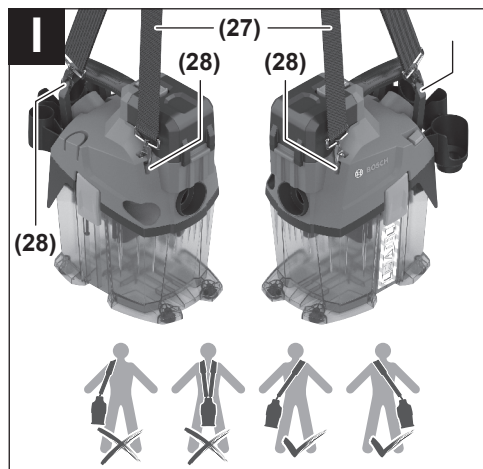
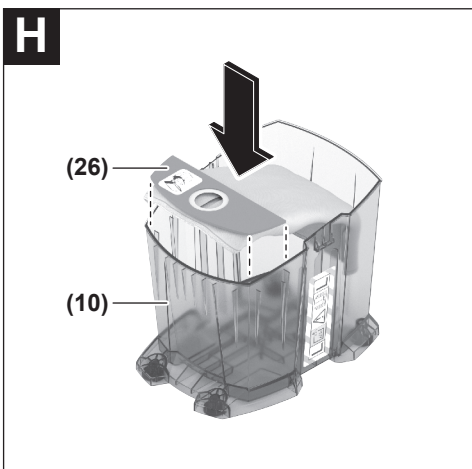
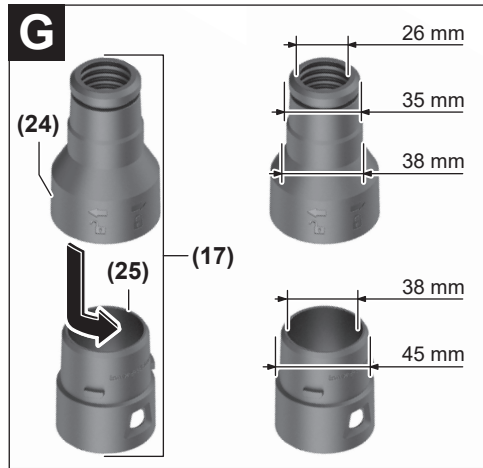
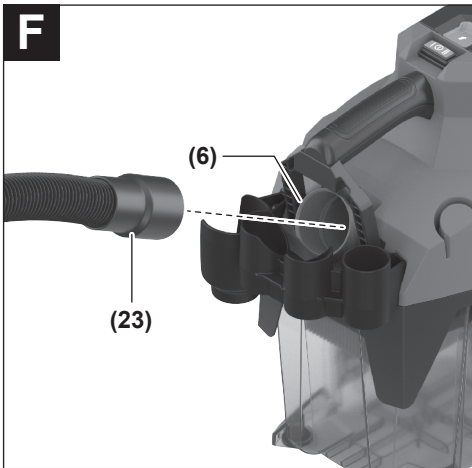
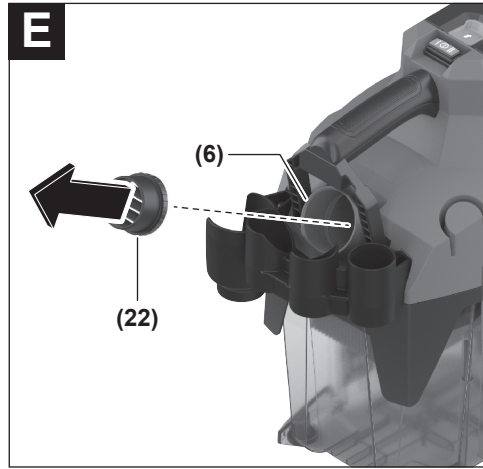
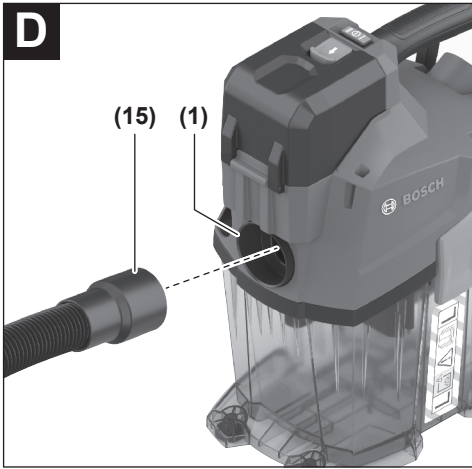


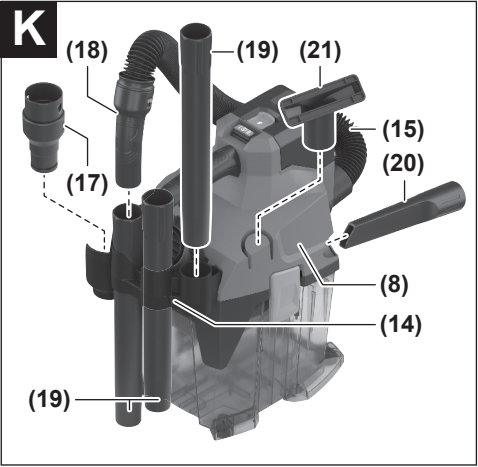
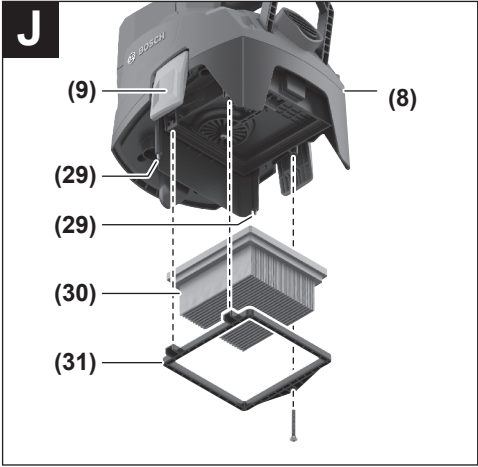
目次

用途	7
記号について	7
警告表示の区分	8
安全規則.....	8
一般安全規則	8
安全上のご注意	10
コードレス電動工具全般についての注意事項.....	10
クリーナーについての注意事項	13
本製品について	15
各部の名称	15
標準付属品	15
仕様	16
使い方	16
バッテリーを準備する	16
作業前の準備をする	18
作業する	20
バッテリーを長持ちさせるために	23
リサイクルのために	23
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください.....	23
お手入れと保管	23
クリーニング	23
保管	25
廃棄について	26
困ったときは.....	26
故障かな?と思ったら	26
修理を依頼するときは	27
保証サービスについて	27












用途



- ◆ ゴミや水の吸引
 - ◆ コンクリートや石材の細かい粉じんの吸引
 - ◆ 機械類の清掃（送風）
- ☞ 本製品はIEC規格で定めたクラスLに該当します。
- ☞ 建設現場、産業、作業場での使用を目的としています。
- ☞ 本機の機能、使用方法を理解してから使用してください。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。
記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク（リチウムイオンバッテリー）
	リサイクル識別表示マーク（紙製容器包装）
	リサイクル識別表示マーク（プラスチック製容器包装）
	直流
	台湾の基準適合表示

	アルゼンチンの基準適合表示
	ウクライナ自己宣言マーク
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用されるWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	オーストラリア・ニュージーランドの基準適合表示
	メキシコで使用されるNOM指令の適合表示
	中国で使用されるRoHS指令の適合表示
	ロシア、ベラルーシ、カザフスタンの基準適合表示
	許可される行為
	禁止行為
	警告！すべての指示と安全上の注意事項をよくお読みください。これらの指示と安全上の注意事項に従わないと、感電、火災、または重傷を負う可能性があります。
	IEC/EN 60335-2-69に準拠した粉じんクラスLのクリーナー。暴露限界値1mg/m ³ を超える健康に有害な粉じんを乾式吸入します。

	<p>警告!本機には健康に害を及ぼす恐れのある粉じんが取り込まれています。</p> <p>ダストコンテナの取り外しを含む、タンクを空にする作業やメンテナンス作業は、必ず専門家に依頼してください。適切な保護具を着用してください。フィルターシステム全体が正しく取り付けられていない状態でクリーナーを操作しないでください。正しく取り付けられていない場合、健康を害する恐れがあります。</p>
	<p>フィルター清掃スイッチ</p>

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠ 危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠ 警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般安全規則

⚠ 警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
 - 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
- 屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐

れがあります。

- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱い慣れていない人に渡すと、危険です。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
- 多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
- 電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

g) その他

- 1) この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
- 2) 電動工具および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してくださ

い。

- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 電動工具やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さな

いでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠警告

● 正しく充電してください。

◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。

◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。

◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。

◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。

◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

● 充電器のコードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

● 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合は交換してください。

● 感電に注意してください。

◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

● 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

● ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

● 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池

等）は、充電しないでください。

● フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、電動工具に故障をきたすばかりでなく、電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

● 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

● 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

● この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。

◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

● 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。

電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。

ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。

水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

● 雨中での作業は行わないでください。ま

た、電動工具を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

- ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 防音保護具を着用してください。
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
- きちんとした服装で作業してください。
- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。
- 電動工具にバッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、スイッチが“切”になっていることを確認してください。
- ◆ スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを取り付けたり取り外したりすると、事故の原因になります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保てく

ださい。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。

- スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。
修理を依頼してください。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 無理して使用しないでください。
- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電動工具からバッテリーを取り外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。**
- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- **電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。**
- ◆ 爆発の恐れがあります。
- **注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。**
- **損傷した部品がないか点検してください。**
- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ 電動工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
- **安全上のご注意は、必ず守ってください。**
- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- **電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**

- ◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
- ◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- **この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。**
- ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

△ 注意

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
- ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

クリーナーについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、クリーナーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

△ 警告

- **使用方法を十分理解してから使用してく**

ださい。

- ◆ 十分な情報により、事故を減らせます。
- 吸引する物質の有害情報や安全な廃棄について、十分理解してから使用してください。
- ◆ 十分な情報により、事故を減らせます。
- 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人には、絶対に使用させないでください。
- ◆ 子供や知識がない人が使用すると、事故の原因になります。
- 子供が本機で遊ばないよう、注意を払ってください。
- ◆ 遊ぶと、事故の原因になります。
- 人体に害を及ぼす物質（ブナやオーク材、石材、石綿などの粉じん）は、絶対に吸引しないでください。
- ◆ これらの素材は発がん性があると考えられています。
- 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）および油、薬液などの液体は絶対に吸じないでください。
- また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
- ◆ 出火や爆発の原因になります。
- 鋭利なもの（割れたガラス、釘、針、カミソリの刃、石など）を吸引しないでください。
- ◆ 鋭利なものを吸引すると、けがや故障の原因になります。
- ◆ 鋭利なものを吸引すると、フィルターが損傷する恐れがあります。
- 液体を吸引するときは、適切な手段を講じてください。
- 本機は乾燥した材料を吸引するのに適しており、適切な手段を講じたときのみ液体を吸引できます。
- ◆ 液体が浸透すると、感電の危険性が増します。
- （液体が吸引できないモデルには該当しません。）

● 作業中は、十分に換気をしてください。

- ◆ 換気が十分でないと、健康を害する恐れがあります。
- 作業中は、ノズルやホース接続口に、手や顔などを近づけないでください。
- ◆ 近づけるとけがの原因になります。
- 吸引したものを取り除くときやアクセサリーの取り付け・取り外しをするとき、または点検・整備を行うのときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。
- ◆ 電源プラグが電源コンセントに差し込まれたままになっていたり、バッテリーが取り付けられたままになっていると、不意の作動による事故の原因になります。
- 吸引したゴミには、健康に有害な物質が含まれていることがあります。
- タンク内の粉じんを捨てるときや、タンク内を清掃するときは、専門の担当者が適切な保護具を着用して作業を行ってください。
- また、フィルターが装着されるまで、電源を“入”にしないでください。
- ◆ 守らないと、健康を害する恐れがあります。
- 使用しないときは、室内で、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ◆ 子供が遊んだりすると、大変危険です。
- 電動工具を接続して使用する場合は、『電動工具の取扱説明書』を併せてお読みください。

⚠ 注意

- アクセサリーの取り付けやクリーナーヘッドとタンクの組み付けは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ◆ 確実でないと外れたりし、事故の原因になります。
- ストープなど高温のものに近づけないでください。
- ◆ 高温のものに近づけると、変色や変形の原因になります。
- タンクの中に、汚水や汚物を入れたままにしないでください。
- ◆ 入れたままにすると、悪臭の発生やタンクのいたみの原因になります。

- ゴミの漏れに気づいた場合は、電源を“切”にし、タンクを空にしてください。
- ◆ 作業を続けると、故障の原因になります。
- タンク内は定期的に清掃し、損傷がないか点検してください。
- ◆ 清掃や点検を怠ると、故障の原因になります。
- 使用前に、フィルターやホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。
- ◆ 確実に取り付けられていないと、ゴミが漏れる恐れがあります。また、事故や故障の原因になります。
- 吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
- ◆ 故障の原因になります。
- 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
- ◆ 故障の原因になります。
- 本機から泡や液体が溢れ出たときは、直ちに電源を“切”にし、タンクを空にしてください。
- ◆ そのまま使用すると、故障の原因になります。
- 椅子や踏み台として使用しないでください。
- ◆ 本機が転倒すると、事故や故障の原因になります。
- ウォーター・ジェットなどで直接水を掛けて掃除しないでください。
- ◆ 本機に水が入ると、感電や故障の原因になります。
- 本機をクレーンのフックに掛けて運搬しないでください。
- ◆ 事故や故障の原因になります。

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)ホース接続口
- (2)バッテリー収納部カバー
- (3)バッテリー収納部カバーロック解除ボタン
- (4)メインスイッチ

- (5)ハンドル
 - (6)ブロフ(送風)作業時ホース接続口
 - (7)フィルター清掃スイッチ
 - (8)クリーナーヘッド
 - (9)クリーナーヘッドロックフック
 - (10)タンク
 - (11)バッテリー取り付け部
 - (12)バッテリー*1
 - (13)バッテリー取り外しボタン
 - (14)アクセサリーホルダー
 - (15)ホース
 - (16)スナップファスナー
 - (17)ノズルアダプター
 - (18)ノズル
 - (19)パイプ
 - (20)すき間ノズル
 - (21)床用ノズル
 - (22)ディフューザー
 - (23)ブロフホース*1
 - (24)ノズルアダプター(前部)
 - (25)ノズルアダプター(後部)
 - (26)フリースフィルターバッグ
 - (27)キャリーストラップ
 - (28)キャリーストラップ取り付け穴
 - (29)液面センサー
 - (30)フィルター
 - (31)フィルターホルダー
- *1 別売品

標準付属品

モデル名	GAS18V-6LS
型番	GAS18V-6LS
ホース	1本
ノズルアダプター	1個
ノズル	1個
パイプ	1個
すき間ノズル	1個
床用ノズル	1個
アクセサリーホルダー	1個
キャリーストラップ	1本
フリースフィルターバッグ	1個

仕様

本体

モデル名	GAS18V-6LS
型番	GAS18V-6LS
定格電圧	D.C.18V
定格消費電力(入力)	350W
タンク容量	6L
正味容量 一般ごみ 液体	4.5L 3L
ホース長さ	0.5～2.8m
真空度*2 ホース先端部*3 ホース接続部(本体側)	100hPa 135hPa
流量*2 ホース先端部*3 ホース接続部(本体側)	22L/秒(79m ³ /時間) 36L/秒(130m ³ /時間)
1充電当たりの作業 時間(目安) パワー設定Ⅰ パワー設定Ⅱ	3.5分/Ah 2.5分/Ah
粉じんクラス	L
質量*4	5.0kg
推奨充電周囲 温度範囲	0℃～+35℃
使用可能周囲 温度範囲*5	-20℃～+50℃
保管可能周囲 温度範囲	-20℃～+50℃
原産国	中国

*2 バッテリー-GBA18V 8.0Ahを使用して、20～25℃で測定。

*3 ホース(15)を装着した状態で測定

*4 バッテリー未装着時

*5 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

☞ 値は使用する工具の用途や環境条件により異なります。

使用可能ボッシュ充電器

品番	GAL 18... GAL 36... GAL 12V/18... GAX 18... EXAL18...
----	---

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー

品番	GBA 18V... ProCORE18V... EXPERT18V... EXBA18V... CORE18V...
----	---

使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

バッテリー残量表示

バッテリー(12)の残量状態を、バッテリー(12)のバッテリー残量表示ランプで確認することができます。

バッテリー(12)のバッテリー残量表示ボタンを押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 安全のため、本体が停止しているときのみ、残量状態を確認することができます。

☞ バッテリー残量表示ボタンを押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(12)が損傷しています。

バッテリー(12)を交換してください。

残量状態は、バッテリー(12)を本体から外していても、確認できます。

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60～100%
緑色2つ点灯	30～60%
緑色1つ点灯	5～30%
緑色1つ点滅	0～5%

ProCORE 18V... / EXPERT18V... / EXBA18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%

バッテリーの欠陥リスク検出 (EXPERT18V... / EXBA18V...)

バッテリー(12)のバッテリー残量表示ランプは、バッテリーの残量だけでなく、バッテリーの欠陥リスクを確認することができます。欠陥リスク評価は、バッテリー(12)の状態が良好か、欠陥リスクが高まっているかの2段階で行われ、簡易的な状態評価を提供します。この機能を有効にするときは、バッテリー(12)のバッテリー残量表示ボタンを3秒押し続けます。

バッテリー分析中は、バッテリー残量表示ランプが連続して点灯します。結果は、バッテリー残量表示ランプの点灯で示されます。

ランプが1つ点灯



バッテリー(12)の欠陥リスクが高い状態です。出力と稼働時間がすでに低下している可能性があります。バッテリー(12)の交換をお勧めします。

ランプが5つ点灯



バッテリー(12)は良好で、欠陥のリスクは低

い状態です。

欠陥リスクの検出中は、バッテリーの残量は表示されません。

バッテリーを取り付ける・取り外す

警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、メインスイッチ(4)が“切”になっていることを確認してください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(12)以外は、取り付けしないでください。指定外のバッテリー(12)を取り付けると、本体が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

注意

- ◆ バッテリー(12)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。
- ◆ 安全かつ良好な動作のため、バッテリー取り付け部(11)は、常に清潔で乾燥した状態に保ってください。

取り付け

(イラストA参照)

1. バッテリー収納部カバーロック解除ボタン(3)を刻印されている矢印の方向にスライドさせ、バッテリー収納部カバー(2)を開きます。
 2. バッテリー(12)をバッテリー取り付け部(11)に“カチツ”“カチツ”と2回音がするまで押し込みます。
- 本機は、バッテリー取り外しボタン(13)が押されただけではバッテリー(12)が外れないよう、バッテリー(12)の取り付けが二重ロックになっています。2回音がするまで押し込んでください。
- バッテリー(12)を無理に押し込まないでください。バッテリー(12)は、正しい位置でのみバッテリー取り付け部(11)に挿入できるように設計されています。
3. バッテリー(12)が確実に固定されているか確認します。
 4. バッテリー収納部カバー(2)を閉じ、“カチツ”と音がするまで押し込みます。
 5. バッテリー収納部カバー(2)が確実に固定されていることを確認します。

取り外し

1. バッテリー収納部カバーロック解除ボタン(3)を刻印されている矢印の方向にスライドさせ、バッテリー収納部カバー(2)を開きます。
2. バッテリー取り外しボタン(13)を押しながら、バッテリー(12)を引き上げて取り外します。
- ☞ バッテリー(12)は、無理に引き抜かないでください。
3. バッテリー収納部カバー(2)を閉じ、“カチツ”と音がするまで押し込みます。
4. バッテリー収納部カバー(2)が確実に固定されていることを確認します。

作業前の準備をする

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず本体からバッテリー(12)を取り外してください。

アクセサリホルダーを取り付ける (イラストB参照)

本体のアクセサリホルダー取り付け部のネジ穴とアクセサリホルダー(14)のネジ穴を合わせ、固定ネジで固定します。

- ☞ 確実に取り付けられていることを確認してください。

ホースを取り付ける

用途に応じて適切なホースを取り付けてください。

クリーナーとして使用するとき

(イラストD参照)

1. ホース(15)(標準付属品)をホース接続口(1)に差し込んで取り付けます。
2. 確実に取り付けられていることを確認します。

ブロフとして使用するとき

(イラストE・F参照)

⚠注意

- ◆ 接続部のサイズが異なるため、ホース(15)をブロフに使用しないでください。
- ◆ ブロフとして使用するときは、きれいなブロフホース(23)を使用して作業してください。

ださい。汚れたブロフホース(23)を使用すると、ブロフホース(23)内に付着していた健康に有害な粉じんが排出される可能性があります。

1. ディフューザー(22)を取り外します。
2. ブロフホース(23)(別売品)をブロフ(送風)作業時ホース接続口(6)に差し込んで取り付けます。
3. 確実に取り付けられていることを確認します。
- ☞ ブロフホース(23)を取り外したら、ディフューザー(22)をブロフ(送風)作業時ホース接続口(6)に取り付けてください。

ノズルアダプターを組み立てる

(イラストG参照)

ノズルアダプター(17)は、ノズルアダプター(前部)(24)とノズルアダプター(後部)(25)で構成されています。

イラストGは、ノズルアダプター(17)に接続できる吸引ノズルの直径を示しています。

必要に応じて、ノズルアダプター(前部)(24)をノズルアダプター(後部)(25)に取り付けて使用してください。

ノズルアダプター(前部)(24)をノズルアダプター(後部)(25)に取り付けるときは、反時計方向(イラストGの矢印の方向)に回して固定します。

ノズルアダプター(前部)(24)をノズルアダプター(後部)(25)から取り外すときは、時計方向に回して取り外します。

ノズルまたはノズルアダプターを取り付ける・取り外す

(イラストC参照)

作業状況に合わせて、ノズル(18)またはノズルアダプター(17)を取り付けてください。

ホース(15)(標準付属品)には、ノズル(18)やノズルアダプター(17)を接続するための、スナップファスナー(16)が取り付けられています。

- ☞ ノズルアダプター(17)は、必要に応じてノズルアダプター(後部)(25)または組み立て済みのノズルアダプター(17)を取り付けてください。

取り付け

1. スナップファスナー(16)を内側に押し込んで保持します。

2. ノズル(18)またはノズルアダプター(17)の接続穴とスナップファスナー(16)の突起の位置を合わせ、ノズル(18)またはノズルアダプター(17)をホース(15)に差し込みます。

☞ “カチッ”と音が鳴って、確実に差し込まれたことを確認してください。

3. ノズル(18)またはノズルアダプター(17)を軽く引いて、抜けないことを確認します。

取り外し

ノズル(18)またはノズルアダプター(17)の接続穴に挿入されている、スナップファスナー(16)の突起を押し込みながら、ノズル(18)またはノズルアダプター(17)を引き抜きます。

パイプ・床用ノズル・すき間ノズルを取り付ける・取り外す

(イラストC参照)

作業状況に合わせて、パイプ(19) (標準付属品)・すき間ノズル(20) (標準付属品)・床用ノズル(21) (標準付属品)を取り付けます。

取り付け

1. ノズル(18)の先端を、パイプ(19)に差し込みます。

パイプ(19)には、径が大きい側と小さい側があります。径が大きい側に差し込んでください。

☞ すきま用ノズル(20)・床用ノズル(21)は、パイプ(19)を使用せず、ノズル(18)に直接接続しても使用できます。

2. パイプ(19)をすきま用ノズル(20)・床用ノズル(21)に差し込みます。

取り外し

パイプ(19)・すきま用ノズル(20)・床用ノズル(21)を引き抜きます。

フリースフィルターバッグを取り付ける・取り外す

(イラストH参照)

乾燥した粉じんを吸引するときは、フリースフィルターバッグ(26)を使用できます。フリースフィルターバッグ(26)を使用すると、ゴミ捨てが簡単になります。

☞ フリースフィルターバッグ(26)がいっぱいになったら、早めに交換してください。

☞ 水や湿ったゴミを吸引するときは、フリー

スフィルターバッグ(26)を取り付けしないでください。

取り付け

1. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。

クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。

2. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。

3. イラストのように、フリースフィルターバッグ(26)をタンク(10)にセットします。

4. クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。

☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。

5. クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に取り付けられているか確認します。

取り外し

1. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。

クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。

2. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。

3. タンク(10)からフリースフィルターバッグ(26)を取り出します。

4. クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。

☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。

5. クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に取り付けられているか確認します。

キャリーストラップを取り付ける

(イラストI参照)

⚠警告

◆ 付属のキャリーストラップ(27)以外は、使用しないでください。

⚠注意

◆ キャリーストラップ(27)は、本体の持ち運

びと固定のみに使用してください。

作業中はハンドルを持って本体を保持してください。

- ◆ イラストIに示す正しい持ち運び方を守ってください。

☞ キャリーストラップ(27)は、本体の持ち運び方法に応じて、右側または左側に取り付けることができます。

1. 右側または左側の、キャリーストラップ取り付け穴(28)の前後2箇所に、キャリーストラップ(27)の端のカラビナフックを取り付けます。
2. 確実に取り付けられているか確認します。

電動工具を取り付ける・取り外す

⚠ 注意

- ◆ 排気が循環するときは、適切な風量(L)を設定してください。国内法規を順守してください。

取り付け

1. ノズル(18)またはノズルアダプター(17)をホース(15)に取り付けます。
(18ページ「ノズルまたはノズルアダプターを取り付ける・取り外す」参照)
2. 電動工具の吸じんホース差し込み口にノズル(18)またはノズルアダプター(17)を差し込みます。

取り外し

電動工具の吸じんホース差し込み口からノズル(18)またはノズルアダプター(17)を引き抜きます。

作業する

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が自動で停止した状態でメインスイッチ(4)を“入”にし続けると、故障の原因になります。本体が突然停止したときは、メインスイッチ(4)を“切”にし、作業を一時中断してください。

⚠ 警告

- ◆ 本機の集じん能力はテスト済みで、粉じんクラスLに対応しています。
IEC/EN 60335-2-69に基づく粉じんクラスLに準拠したクリーナーは、ばく露限界値が $1\text{mg}/\text{m}^3$ 以上の有害な粉じんを吸引して除去する目的で使用してください。ばく露限界値 $1\text{mg}/\text{m}^3$ を下回る危険な粉じんは吸引しないでください。
- ◆ 吸引する物質の有害情報や安全な廃棄について、十分理解してから使用してください。
- ◆ 岩石粉じんの吸引は、ボッシュがGAS18V-6LSとの使用を明確に承認した集じんシステムと組み合わせで行ってください。これらの物質は発がん性物質に分類されています。
- ◆ 岩石粉じんの吸引は、法的基準値を超えないことが証明されている電動工具と集じんシステムの組み合わせで行ってください。
詳細は、www.bosch-professional.com/dust/をご覧ください。
- ◆ 必ずフィルター(30)を取り付けて使用してください。
- ◆ 損傷(亀裂、小さい穴など)したフィルター(30)を使用しないでください。
損傷したフィルター(30)は直ちに交換してください。
- ◆ 使用する前に、フィルターユニットがしっかり取り付けられていることを確認してください。
- ◆ 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸い殻など高温のものや引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
- ◆ 爆発の危険性がある場所で作業しないでください。
- ◆ アクセサリー(ホース(15)やノズル(18)など)を取り付けたり、取り外したりするときは、バッテリー(12)を取り外してください。

△注意

- ◆ 作業するときは、作業場の換気をしてください。
- ◆ アクセサリー（ホース(15)やノズル(18)など）が確実に取り付けられているか確認してからメインスイッチ(4)を“入”にしてください。
- ◆ バッテリー収納部カバー(2)が確実に閉まっていることを確認してください。
- ◆ 本体を持ち運ぶときは、必ずハンドル(5)またはキャリーストラップ(27)を使用してください。
- ◆ キャリーストラップ(27)を使用して本体を持ち運んでいるときは、作業しないでください。
キャリーストラップ(27)を使用して持ち運びながら作業すると、けがや事故の原因になります。

☞ 最適な吸じん性能を確保するため、本体にホースを巻きつけて使用しないでください。

不燃性の乾燥した粉じんを吸引する**△注意**

- ◆ 乾式吸引を始める前にフィルター(30)、タンク(10)、および吸引アクセサリが乾燥していることを確認してください。濡れていると、湿った部分にほこりが付着し、固まることがあります。

☞ フリースフィルターバッグ(26)を使用することをお勧めします。
フリースフィルターバッグ(26)を使用しない場合は、作業後毎回タンク(10)を清掃してください。

[1] ホース(15)を伸ばす

本体にホース(15)が巻かれているときは、完全に伸ばします。

☞ ホース(15)を巻き付けたまま使用すると、最適な吸引力が確保できません。

[2] アクセサリーの取り付けを確認する

ホース(15)やパイプ(19)、ノズル(18)などのアクセサリが確実に取り付けられているか確認します。

[3] 本体にバッテリー(12)を取り付ける

(17ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

△注意

- ◆ バッテリー(12)を取り付ける前に、本体および本体に接続した電動工具の電源が“切”になっていることを確認してください。

[4] メインスイッチ(4)を切り換えて作業を開始する

目的に合わせて、メインスイッチ(4)を切り換えます。

中程度の吸引力が必要な作業（例：滑らかな表面の清掃、発じん量の少ない電動工具の使用）で、長時間運転したい場合は、メインスイッチ(4)の“**I**”側を押します。

高い吸引力が必要な作業（例：カーペットの清掃、発じん量の多い電動工具の使用）の場合は、メインスイッチ(4)の“**II**”側を押します。

[5] 作業を終了する

メインスイッチ(4)の中央“切**①**”を押して電源を切り、作業を終了します。

[6] タンク(10)を空にする

タンク(10)を空にできればきれいに清掃し、カビが発生しないようによく乾燥させてください。(24ページ「タンクを清掃する」参照)

不燃性の液体を吸引する**△注意**

- ◆ 給水ポンプとして使用することはできません。

[1] アクセサリーを取り外す

本体に取り付けられているアクセサリ（ホース(15)など）を取り外します。

[2] クリーナーヘッド(8)を取り外す

1. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。

クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。

2. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。

[3] タンク(10)を清掃する

フリースフィルターバッグ(26)が取り付けられているときは取り外し、タンク(10)を清掃します。

(24ページ「タンクを清掃する」参照)

[4] フィルター(30)を清掃する

(25ページ「フィルターを清掃する」参照)

[5] 液面センサー(29)がきれいか確認する

左右両方の液面センサー(29)がきれいであることを確認してください。

液面センサー(29)が汚れているときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。

☞ 液面センサー(29)が汚れていると、タンク(10)が満杯になったとき、本体が自動的に停止しません。

[6] クリーナーヘッド(8)を取り付ける

クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。

☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。

☞ クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に取り付けられているか確認してください。

[7] アクセサリーを取り付ける

(18ページ「作業前の準備をする」参照)

[8] 本体にバッテリー(12)を取り付ける

(17ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

△注意

◆ バッテリー(12)を取り付ける前に、本体の電源が“切”になっていることを確認してください。

[9] メインスイッチ(4)を切り換えて作業を開始する

メインスイッチ(4)の“I”側を押します。

☞ 本機には、液面センサーがついています。導電性の液体が最大吸引容量に達すると、液面センサーが働き自動的に本体の作動が停止します。自動的に停止したら、メインスイッチ(4)の中央“切①”を押して電源を切り、タンク(10)の水を捨ててください。

☞ 非導電性の液体を吸い込んだ場合、タンク(10)がいっぱいになっても本体は自動的に停止しません。常にタンク(10)を確認し、適時に水を捨ててください。

☞ タンク(10)を適時に空にしなかったために本体から液体が漏れた場合は、直ちにメインスイッチ(4)を“切”にしてください。クリーナーヘッド(8)を取り外し、すべての部品を完全に乾燥させてください。

タンクの水を捨てる

液面センサーが働いて本体が自動的に停止し

たり、タンク(10)内の水がいっぱいになったときは、タンク(10)に溜まった水を捨ててください。

1. メインスイッチ(4)の中央“切①”を押して電源を切ります。

2. 本体からバッテリー(12)を取り外します。(17ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

3. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。

クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。

4. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。

5. タンク(10)に溜まった水を捨てます。

6. クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。

☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。

7. クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に取り付けられているか確認します。

[10] 作業を終了する

メインスイッチ(4)の中央“切①”を押して電源を切り、作業を終了します。

[11] クリーナーヘッド(8)とフィルター(30)を乾燥させる

作業完了後、カビの発生を防ぐため、クリーナーヘッド(8)とフィルター(30)を取り外し、完全に乾燥させてください。

必要に応じて、液面センサー(29)を清掃してください。頑固な汚れはスチールブラシで汚れを取り除いてください。

ブロウとして使用する

(イラストE・F参照)

[1] ホースを確認する

汚れていない、きれいなブロウホース(23)(別売品)が取り付けられているか確認してください。

△注意

◆ 接続部のサイズが異なるため、ホース(15)をブロウに使用しないでください。

◆ ブロウとして使用するときは、きれいなホースを使用して作業してください。汚

れたホースを使用すると、ホースに付着していた健康に有害な粉じんが排出される可能性があります。

[2] アクセサリーの取り付けを確認する
パイプ(19)、ノズル(18)などのアクセサリーが確実に取り付けられているか確認します。

[3] 本体にバッテリー(12)を取り付ける
(17ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

⚠ 注意

◆ バッテリー(12)を取り付ける前に、本体の電源が“切”になっていることを確認してください。

[4] メインスイッチ(4)を切り換えて作業を開始する

中程度の送風力(汚れた表面の吹き飛ばし)の作業で、長時間使用したい場合は、メインスイッチ(4)の“Ⅰ”側を押します。
強い送風力で作業したい場合は、メインスイッチ(4)の“Ⅱ”側を押します。

[5] 作業を終了する

メインスイッチ(4)の中央“切①”を押して電源を切り、作業を終了します。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は、使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。
恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbrc.com/>



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいませう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出ください。

お手入れと保管

⚠ 警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(12)を本体から取り外して、お手入れしてください。

クリーニング

⚠ 警告

- ◆ 保守を行う場合は、作業員や他の人に危険を及ぼさない範囲で、本体を分解して清掃する必要があります。万が一の危険を防ぐために、分解する前に本体の外側を清掃する必要があります。
- ◆ 本体の清掃が完了したら、作業した領域を清掃する必要があります。

⚠ 注意

- ◆ 本体の清掃を行うときは、防じんマスクなどの個人用保護具を着用してください。
- ◆ 本体の清掃に、圧縮空気を使用しないでください。
圧縮空気を使用すると、フィルター(30)やその他の部品が損傷する恐れがあります。
- ◆ 粉じん除去能力に関する検査は、少なくとも年に1回、ボッシュ電動工具サービスセンターまたは、訓練を受けた担当者に

依頼してください。

メインフィルター損傷の有無、本体の密閉性、制御装置が機能しているかを確認します。

通風口などに付いたゴミやホコリを吹き飛ばす

バッテリー取り外しボタン(13)やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

ハウジングを、湿らせた布で時々拭く

液面センサーが汚れているときは、乾いた柔らかい布で清掃する

液面センサー(29)は左右両側にあります。両方とも清掃してください。

頑固な汚れは、スチールブラシで汚れを取り除いてください。

☞ 液面センサー(29)は定期的に清掃し、損傷がないか確認してください。損傷があると、正常に動作しない可能性があります。

フィルター清掃機能でフィルターを清掃する

吸引力が十分でなくなった場合は、必ずフィルター(30)を清掃してください。

フィルター清掃の頻度は、吸引したゴミの種類と量によって異なります。

定期的に清掃することで、最大吸引能力をより長く維持できます。

1. メインスイッチ(4)の“II”側を押します。
2. ホース接続口(1)またはブロフ作業時ホース接続口(6)のいずれかを手で閉じた状態(ホースやアダプターが接続されている場合は、開口部を押さえた状態)にします。
3. フィルター清掃スイッチ(7)を少なくとも3回連続して押します。フィルター(30)は強力な空気流によって清掃されます。
4. メインスイッチ(4)の中央“切①”を押して、電源を切ります。

**健康に有害な物質を吸じんした後
のメンテナンスと清掃**

- ☞ 健康に有害な物質に接触したすべての部品は、汚染されているとみなしてください。
- ☞ 健康に有害な物質を含む場所や部屋から出る前に、本体の外側を徹底的に本機で吸い取るか、拭き取るか、密閉してください。
- ☞ 本体の清掃、分解、保守は、ご自身と周囲の安全が確保できる場合にのみ行ってください。清掃および保守作業中は、必ず個人用保護具を着用してください。作業は換気の良い場所で行ってください。
- ☞ 本体を分解する前に、本体の外側を清掃してください。
- ☞ 十分に清掃できない本体の部品はすべて、密封袋に入れて廃棄してください。廃棄の際は、この種の廃棄物の廃棄に関する適用法令を遵守してください。
- ☞ 最後に、作業場を清掃してください。

タンクを清掃する

フリースフィルターバッグ(26)を使用していない場合は、使用後毎回タンク(10)を清掃してください。

1. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。
2. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。
3. タンク(10)を適切なゴミ箱の上で振って、ゴミを捨てます。
4. 必要に応じて、湿らせた布でタンク(10)を清掃します。
5. 必要に応じて、フィルター(30)を清掃します。
(25ページ「フィルターを清掃する」参照)
6. タンク(10)とフィルター(30)を乾燥させます。
7. クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。
- ☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。
8. クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に

取り付けられているか確認します。

フィルターを清掃する (イラストJ参照)

吸引力はフィルター(30)の状態によって異なります。フィルター(30)は定期的に清掃してください。

▲注意

◆ 損傷したフィルター(30)は、すぐに交換してください。

1. フィルター清掃機能でフィルター(30)を清掃します。
(24ページ「フィルター清掃機能でフィルターを清掃する」参照)
 2. クリーナーヘッドロックフック(9)を引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。
 3. ハンドル(5)を持って、クリーナーヘッド(8)を引き上げ、タンク(10)から取り外します。
 4. フィルターホルダー(31)を固定しているネジを緩めます。
 5. ハンドル(5)を持って本体を保持し、フィルターホルダー(31)とフィルター(30)を一緒に下に向かって取り外します。
- ☞ 下に向けて取り外さないと、フィルター(30)のホコリが本体のモーター部に落ちる恐れがあります。
6. フィルター(30)をフィルターホルダー(31)から取り外します。
 7. フィルター(30)を清掃します。

フィルター(30)が乾燥している場合

適切なゴミ箱の側面にフィルター(30)を軽く当ててフィルターに溜まったゴミを落とします。

- ☞ この際、フィルター(30)のフラップを傷つけないように注意してください。
- ☞ フィルター(30)の汚れがひどい場合は、フィルター(30)のフラップ部分を水と柔らかいブラシでブラッシングしてください。
- ☞ ゴミを取り除けない場合やフィルター(30)に損傷がある場合は新しいフィルター(30)と交換してください。

フィルター(30)が濡れている場合

フィルター(30)を流水ですすぎ、完全に乾

燥させます。

☞ フィルター(30)に損傷がある場合は新しいフィルター(30)と交換してください。

8. 清掃して乾燥させたフィルター(30)をフィルターホルダー(31)に取り付けます。
 9. フィルターホルダー(31)をクリーナーヘッド(8)に取り付けます。
 10. フィルターホルダー(31)を固定しているネジを、6回回してしっかり締めます。
 11. フィルター(30)とフィルターホルダー(31)が、正しく、しっかり固定されていることを確認します。
 12. クリーナーヘッド(8)をタンク(10)にセットし、クリーナーヘッドロックフック(9)で固定します。
- ☞ クリーナーヘッドロックフック(9)は、左右にあります。かけ忘れのないようにしてください。
13. クリーナーヘッド(8)が確実にタンク(10)に取り付けられているか確認します。

保管

使った後は、バッテリー(12)を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。
- 本体は乾燥した部屋に保管し、関係者以外が使用できないようにしてください。

ホースやアクセサリを収納する (イラストJ参照)

- ・パイプ(19)とノズルアダプター(17)をアクセサリホルダー(14)に収納します。
- ・すき間ノズル(20)をクリーナーヘッド(8)に収納します。
- ・床用ノズル(21)をクリーナーヘッド(8)に収

納します。

- ・ノズル(18)を取り付けたホース(15)をパイプ(19)のいずれかが1つに挿入します。

廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ②充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

メインスイッチ(4)を“I”または“II”にしても作動しない

原因	対処
バッテリー(12)が取り付けられていない	バッテリー(12)を取り付ける
バッテリー(12)が消耗している (電子セル保護システムが作動した)	バッテリー(12)を充電するか交換する
バッテリー(12)の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー(12)が最適温度範囲内になるまで待つ
本体の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
本体が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

メインスイッチ(4)を“切〇”にしても、作動したまま止まらない

原因	対処
内部パーツの不良	バッテリー(12)を取り外し、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

電源が自動的に切れる

原因	対処
バッテリー(12)が空になっている	バッテリー(12)を充電するか交換する
液面センサー(29)が作動した	タンク(10)を空にする 必要に応じて、液面センサー(29)を清掃する
タンク(10)がいっぱいになっている	タンク(10)のゴミを捨てる
過負荷により、本体またはバッテリー(12)が過度に熱くなってる	本体とバッテリー(12)が適正温度になるのを待つ
内部パーツの不良	バッテリー(12)を取り外し、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

吸引力が低下している

原因	対処
タンク(10)がいっぱいになっている	タンク(10)のゴミを捨てる
フリースフィルターバッグ(26)がいっぱいになっている	フリースフィルターバッグ(26)を交換する
ノズルアダプター(17)、ノズル(18)、ホース(15)、パイプ(19)が詰まっている	清掃して詰まりを取り除く
フィルター(30)が汚れているか損傷している	フィルター清掃機能でフィルター(30)を清掃する 改善されない場合は、フィルター(30)を取り外して清掃するか交換する (25ページ「フィルターを清掃する」参照)
バッテリー(12)が消耗している	バッテリー(12)を充電するか交換する
バッテリー(12)の容量が低い	容量の大きいバッテリー(12)に交換する

- ☞ タンク(10)を定期的に空にし、フィルター(30)を清掃することで、最適な吸引力を確保できます。

それでも通常の吸引力が得られない場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターに

点検・修理を依頼してください。

充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い

原因	対処
バッテリー(12)が購入直後か、長時間使用していない	バッテリー(12)を充電する
バッテリー(12)の寿命が尽きた	バッテリー(12)を交換する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール
0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

ボッシュ株式会社ホームページ
<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター
〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030
FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本
〒811-0104
福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486
FAX 092-963-3407

保証サービスについて

プロ用電動工具・メジャーリングツール保証サービス『PRO360』のご案内

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をいただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>

**ボッシュ株式会社 電動工具事業部**ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>

〒224-0003

神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目9-32

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

1 609 92A E88 (2025.10)**1 609 92A E88**

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。